

# 鶴田不動産 コラム

VOL.25 「東京大地震の備え」

# 第25回目の今回のテーマは、ずばり 「東京大地震の備え」についてです。

- ▶ 千葉では、地震が続いています。
- ▶ ご参考いただければ幸いです。
- ▶ ※この内容につきましては、日本赤十字社東京都支部発行の
- ▶ 「東京大地震への備え」を参考にしています。

- ▶ 1. 備えは日ごろから
- ▶ ※家の中のチェックポイント
- ▶ ・ガラス製品など、危険物は高い所に置かない。
- ▶ ・高い所に置いたものは、落ちてこない工夫をする。
- ▶ ・燃えやすいものは、火の近くに置かない。
- ▶ ・家具転倒防止金具などで固定する。
- ▶ ・食器棚、ガラスケースには、飛散防止フィルムを張る。
- ▶ ・戸棚の扉には、勝手に扉が開かないように工夫する。
- ▶ ・寝室には、なるべく家具を置かない。
- ▶ ・避難経路の確保。
- ▶ (スリッパなどでガラスを踏まないように等)

## ▶ 2. 建物の安全チェック

### ▶ (1) まず、耐震診断を

- ▶ ・ホームページの「誰でもできるわが家の耐震診断」を利用すれば、自分で耐震診断（無料です）が行えます。

▶ ※ホームページを探してみてください。

- ▶ ・専門家による耐震診断については、市区町村の担当窓口にご相談しましょう。

### ▶ (2) 塀の強度は

- ▶ ・ブロック塀や石塀は、安全基準通りに施工されているか、鉄筋が入っているか、きちんと点検しましょう。
- ▶ ・そのほか、ベランダの植木鉢が落ちたり、プロパンガスボンベが倒れないか確認しましょう。

### ▶ 3. 非常時の持ち出し品を準備する

#### 非常持ち出し品(一次持ち出し品)

##### 貴重品



●現物を持ち出せなかった場合に備えて、コピーを入れておく

##### 便利品など



##### 情報収集用品



##### 食料など



##### 清潔・健康のためのもの



##### その他

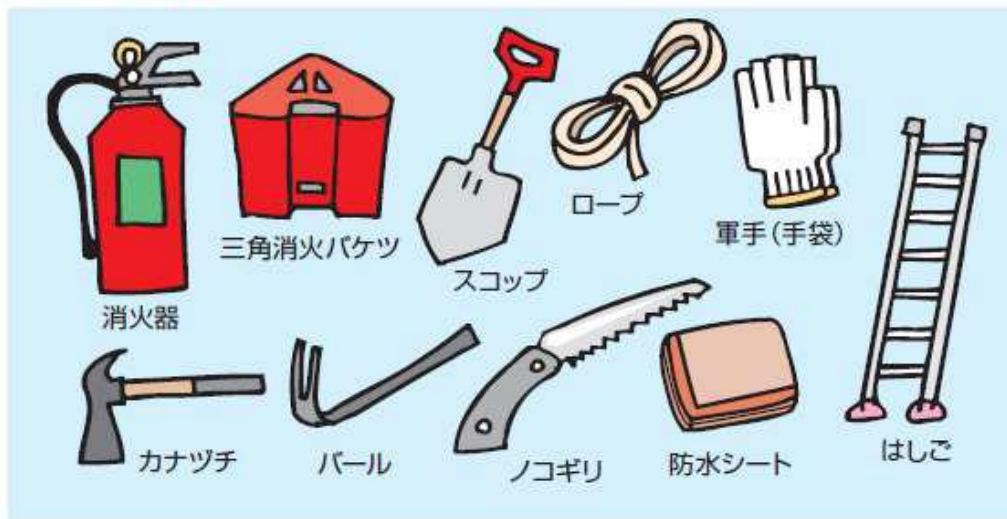


## ▶ 4. 非常時の備蓄品を準備する

非常備蓄品(二次持ち出し品)  
(非常持ち出し品に加えて)



防災準備品



- ▶ 5. あっ!地震。あなたならどうする?
- ▶ ※地震が起こった時に**とるべき行動**は、以下の順になります。
- ▶ ①身を守る。
- ▶ ②火の始末をする。
- ▶ ③安全な場所に避難する。
- ▶ (1) 身を守ることが最優先
- ▶ ・あわてて外に飛び出さない。
- ▶ ・丈夫なテーブルの下などに避難。
- ▶ ・倒れる恐れのあるものの近くには絶対に近寄ってはいけません。
- ▶ (2) 戸を開けて、**出口を確保**
- ▶ ・すぐ戸を開けて**非常時の出口を確保**しましょう。
- ▶ ・**落下物などには、十分注意**しましょう。※ヘルメット等があれば安心。
- ▶ (3) 2階にいたら?
- ▶ ・**木造家屋が倒壊**する場合は**1階から崩れることが多く、2階のほうが安全かも**です。
- ▶ **あわてて階段を駆け降りたり、窓から外に飛び降りたりしないでください。**
- ▶ ※**落下物にも注意。**

- ▶ (4) 防火・消火を確実に
- ▶ ・使用中のガス器具やストーブなどは、すぐに消してください。
- ▶ ・ガスは元栓を閉めてください。
- ▶ ・電化製品はコンセントから電源プラグを抜きます。(ブレーカーを落とせば完璧)
- ▶ ・火を消す3度のチャンス
- ▶ ①揺れを感じた時。瞬間的に消します。
- ▶ ②揺れがおさまった時。
- ▶ ③出火した時。たとえ出火しても1～2分程度なら、
- ▶ 消火用具で消火できます。(備蓄で消火用具の準備が必要です)
- ▶ (5) 避難の時は冷静に
- ▶ ・ヘルメットか防災ずきんの用意。
- ▶ ・マンションや団地では、階段で避難。
- ▶ ・避難は徒歩で、秩序正しく。警察や消防などの指示・誘導に従いましょう。
- ▶ ・切れて垂れ下がった電線は感電する恐れがあるので絶対に触らない。
- ▶ ・門柱やブロック塀、建物の倒壊に注意。
- ▶



- ▶ 6. 家族や知人の安否を確認するには?
- ▶ ※先の大震災では、固定電話や携帯電話がつながらなくなりました。
- ▶ その代わりにEメールやSNS、などが活躍しました。
- ▶ ※公衆電話は、災害時には一般電話や携帯電話よりも多少かかりやすい
- ▶ 優先電話になります。10円玉や100円玉を用意しておきましょう。
- ▶ ※災害用伝言ダイヤル「171」(NTT)の使い方

- ▶ ・被災地内で利用する場合も必ず市外局番からダイヤルしてください。
- ▶ ・携帯電話各社でも、災害用伝言板サービスを行っています。使い方や利用条件などはそれぞれ異なるので、利用している携帯会社のホームページを確認してみてください。

災害用伝言ダイヤル「171」の使い方(おおまかな流れ)  
「171」に電話をかけ、ガイダンスにしたがって必要事項を入力します。  
携帯電話などからも利用できます。



### 注意!

- ・蓄積可能伝言数は1~10件(災害状況による)。
- ・10件以上の場合は、古いものから自動消去される。
- ・伝言録音時間は30秒。
- ・伝言保存期間は48時間(過ぎると自動的に消去される)。
- ・ダイヤル式電話機では、録音のやり直しはできない。
- ・録音済みの伝言は、あとから訂正はできない。
- ・利用が多い場合は、被災地内からの伝言を優先。
- ・災害時には、電話の利用は最小限に!
- ・電話をかける前に伝言内容をよく考えて。

# 今回の格言

## 「不意の震災、普段の用意」

- ▶ 昭和生まれの私です。
- ▶ 子供のころは、いつか関東大震災が来るとか、騒いでいました。
- ▶ ナマズが地震を察知するとの迷信があって、自宅でナマズを飼っている人もいました。
- ▶ 地震の時は、竹やぶに逃げろ。とか、テレビでやってました。
- ▶ 当時は、携帯などない時代でした。
- ▶ 避難後の集合場所とか、家族で話しあっていました。
- ▶ 皆様も家族で話してみるのも良いかもしれませんね。